

(案)

造林事業請負契約書

1 事業名、請負物件、契約面積、請負予定数量、請負予定単価、請負予定金額、事業場所及び生産完了検査場所

事業名	請負物件	契約面積 (ha)	請負 予定数量 (m ³)	請負 予定 単価	請負予定金額	事業 場所	生産完了 検査場所
森林環境保全 整備事業 (鹿原岳国有林)	保育間伐 活用型	95.80ha	3,869m ³			別紙1 のとおり	指定土場
	小計	95.80ha	3,869m ³				
	検知		(2,869m ³)				
計		95.80ha	3,869m ³		請負金額 金 円也 (うち取引に係る消費税及び地方 消費税額 金 円也		

2 事業期間

自 令和8年 月 日
至 令和8年12月11日

3 選択条項 別冊約款中选择される条項は次のとおりである。
(選択されるものは○印、削除されるものは×印。)

適用削除の区分	選択事項	選択条項
	契約保証金の納付	第4条第1項第1号
	契約保証金の納付に代わる担保となる有価証券等の提供	第4条第1項第2号
	銀行、甲が確実と認める金融機関等の保証	第4条第1項第3号
	公共工事履行保証証券による保証	第4条第1項第4号
	履行保証保険契約の締結	第4条第1項第5号
	支給材料及び貸与品	第15条
	部分払	月 回以内 第38条
	前金払	分の 以内 第35条第1項
	中間前金払	第35条第4項
	国庫債務負担行為に係る契約の特則	第40条

4 支給材料及び貸与物件

品 名	品質規格	数 量	引渡予定場所	引渡予定月日

5 特約事項

- (1) 事業実行にあたっては、労働安全衛生に関する諸法令及び諸通達に示す指導事項を遵守すること。
- (2) 伐採、搬出にあたっては、河川の汚濁防止に努めるとともに、林地保全には万全を期すること。
- (3) 丸太表皮の剥皮防止に努めること。
- (4) 一般材と低質材を仕分けし、素材の混同をしないこと。
- (5) 降雨等による地盤の状況等を適切に把握し、林道・集材路等の悪化及びを防止すること。
- (6) 虫害時期においては、切捨て作業を優先的に実施すること。
- (7) 国有林材の生産量の調整の必要が生じた場合には、生産調整に可能な範囲で協力すること。
- (8) 林業機械が林道を走行する場合は、雨天時を避ける等林道の保全に努め、販売した丸太を運搬する時の支障とならないようにすること。
- (9) アフリカ豚熱「ASF」に関わる特約事項は別紙2のとおり。
- (10) 本事業は、国有林材(製品)の安定供給システム販売における直送システムの対象となる可能性がある物件である。
安定供給システム販売の公募において直送システムに係る企画提案があり、協定締結に至った場合には、製品生産事業請負標準仕様書第34条第2項に基づき、封印の実施を委任する。
また、山元土場での巻立経費および検知数量を直送システムに対応した内容に変更し、その実施に当たっては変更契約を締結するものとする。
※直送システムとは、山元土場における検知を行わず、安定供給システム協定者が山元土場から自ら運搬し、原木選別機当により計測された本数および材積を採用する方法をいう。

上記の事業について、発注者と請負者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、本契約書及び令和8年 月 日に交付した国有林野事業製品生産請負事業請負契約約款によって公正な請負契約を締結し、信義にしたがって誠実にこれを履行するものとする。

また、請負者が共同事業体を結成している場合には、請負者は別紙共同事業体協定書により契約書記載の事業を共同連帯して請け負う。

本契約の証として本書2通を作成し、当事者記名押印の上、各自1通を保有する。

令和 年 月 日

発注者	住所	宮城県大崎市古川東町5-32
		分任支出負担行為担当官
	氏名	宮城北部森林管理署長 泉 光博

請負者	住所
	氏名

請負事業内訳書

事業名 森林環境保全整備事業(鹿原岳国有林)

林小班(伐区)	材種	作業工程	予定数量 m3	備考
243ㇵ1	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	106	
		伐木造材・集材	40	
243ㇵ3	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	91	
		伐木造材・集材	40	
243ㇵ4	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	108	
		伐木造材・集材	40	
243ㇵ5	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	64	
		伐木造材・集材	5	
243ㇵ6	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	122	
		伐木造材・集材	60	
243ㇵ7	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	138	
		伐木造材・集材	70	
243ㇵ8	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	110	
		伐木造材・集材	40	
243ㇵ9	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	71	
		伐木造材・集材	10	
243ㇵ11	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	131	
		伐木造材・集材	60	
243ㇵ12	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	63	
		伐木造材・集材	20	
243ㇵ14	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	76	
		伐木造材・集材	20	
243ㇵ15	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	56	
		伐木造材・集材	5	
243ㇵ16	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	70	
		伐木造材・集材	30	
243ㇵ18	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	70	
		伐木造材・集材	20	
243ㇵ19	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	83	
		伐木造材・集材	30	
243ㇵ20	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	50	
		伐木造材・集材	10	
243ㇵ21	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	62	
		伐木造材・集材	5	

243い22	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	97	
		伐木造材・集材	40	
243い23	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	53	
		伐木造材・集材	5	
243い24	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	120	
		伐木造材・集材	50	
243い25	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	112	
		伐木造材・集材	50	
243い26	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	78	
		伐木造材・集材	20	
243い30	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	50	
		伐木造材・集材	5	
243い31	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	181	
		伐木造材・集材	80	
243い32	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	232	
		伐木造材・集材	100	
243い33	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	37	
		伐木造材・集材	5	
243い34	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	82	
		伐木造材・集材	20	
243い35	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	89	
		伐木造材・集材	20	
243い36	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	107	
		伐木造材・集材	40	
243い37	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	160	
	一般材・低質材	伐木造材・集材	60	
計			3,869	
		素材計測	546	(1)の業務
		計測検知	388	(2)の業務
		検尺	1,935	(5)の業務
計			2,869	

特約事項（製品生産事業）

農林水産省では、専門家による検討等を重ね、今般、野生イノシシにおけるアフリカ豚熱（以下、「ASF」という。）の感染確認時の具体的対応が取りまとめられ、都道府県へ通知されたところ。

ASFは、ASFウイルスが豚やイノシシに感染することによる発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い伝染病であり、ダニによる媒介、感染畜等との直接的な接触により感染が拡大し、有効なワクチンや治療法はなく、発生した場合の畜産業界への影響が甚大であることから、我が国の家畜伝染病予防法において「家畜伝染病」に指定され、患畜・疑似患畜の速やかな届出とと殺が義務付けられている。

このことから、下記について順守すること。

記

1. 平時における対応について

山林での作業用の靴の履き分けや、下山時や帰宅時の靴及びタイヤの土落とし等、感染防止対策に協力すること。

また、野生イノシシの死体発見時には死体が所在する県の家畜衛生部局に速やかに通報するとともに、当該森林管理署等へ連絡すること。

2. 感染の疑いが生じた場合の対応

ASF対策として、野生イノシシの感染が確認された場合の各県が実施する防疫措置に基づき、消毒ポイントにおける消毒の実施や帰宅後の靴底の洗浄消毒等に協力すること。

また、各県の行う立入制限等の防疫措置等を踏まえ、本契約の作業を一時中止する可能性がある。

一時中止となった場合は、国有林野事業製品生産事業請負契約約款第20条により対応する。

令和8年度 林分条件調査表

森林管理署	宮城北部森林管理署
物件番号	2
物件名	森林環境保全整備事業(鹿原岳国有林)

林小班	保安林種別等	主要樹種	林齢	事業区分	伐採方法	面積 ha	伐採率 %	平均胸高直径 cm	立木資材量			生産量			予定作業量														最寄り市町村 からの距離 km	備考									
									本数	材積 m³	m³/本	N m³	L m³	計 m³	伐倒		集・造材		小運搬巻立				森林作業道作設		林地保全		土場 作設等 h	砂利 数量 m³			薬剤 散布 (スミ イ)	鉄板 規格*枚数							
															方法	数量 m³	方式	数量 m³	フォワーダ 片道運搬距離 m	数量 m³	グラブ付トラック 片道運搬距離 m	数量 m³	林地傾斜 緩・中・急	延長 m	2種 編柵 m	緑化 m²													
243い1	水涵保	スギ	42	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	3.80	25	22	1,012	366	0.36	141	5	146	全木	366	プロセッサ	146	1078	106					中												加美町役場 小野田支所	19.4	直送システム
243い3	水涵保	スギ	51	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	3.60	25	20	1,032	328	0.32	115	16	131	全木	328	プロセッサ	131	172	91					緩													19.4	直送システム
243い4	水涵保	スギ	52	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	3.53	25	22	960	370	0.39	133	15	148	全木	370	プロセッサ	148	386	108					中													19.4	直送システム
243い5	水涵保	カラマツ	52	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.82	25	22	499	172	0.34	67	2	69	全木	172	プロセッサ	69	197	64					緩													19.4	直送システム
243い6	水涵保	スギ	47	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	3.79	25	22	969	403	0.42	177	5	182	全木	403	プロセッサ	182	1318	122					中													19.4	直送システム
243い7	水涵保	スギ	47	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	4.34	25	22	1,116	462	0.41	203	5	208	全木	462	プロセッサ	208	524	138					中													19.4	直送システム
243い8	水涵保	スギ	47	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	3.50	25	22	898	372	0.41	146	4	150	全木	372	プロセッサ	150	1233	110					中													19.4	直送システム
243い9	水涵保	カラマツ	47	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	3.28	25	22	579	200	0.35	78	3	81	全木	200	プロセッサ	81	654	71					中													19.4	直送システム
243い11	水涵保	スギ	47	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	3.14	25	28	744	423	0.57	188	3	191	全木	423	プロセッサ	191	1479	131					中													19.4	直送システム
243い12	水涵保	カラマツ	47	保育間伐(活用型)	定性間伐	3.84	25	18	846	209	0.25	61	22	83	全木	209	プロセッサ	83	310	63					中													19.4	直送システム
243い14	水涵保	スギ	47	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.94	25	22	781	239	0.31	89	7	96	全木	239	プロセッサ	96	915	76					中													19.4	直送システム
243い15	水涵保	カラマツ	47	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.37	25	22	422	144	0.34	59	2	61	全木	144	プロセッサ	61	356	56					中													19.4	直送システム
243い16	水涵保	スギ	47	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	1.51	33	24	549	252	0.46	99	1	100	全木	252	プロセッサ	100	371	70					中													19.4	直送システム
243い18	水涵保	カラマツ	47	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	3.66	25	22	642	223	0.35	87	3	90	全木	223	プロセッサ	90	146	70					中													19.4	直送システム
243い19	水涵保	スギ	47	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	3.45	25	22	781	284	0.36	109	4	113	全木	284	プロセッサ	113	401	83					中													19.4	直送システム
243い20	水涵保	カラマツ	47	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	3.03	25	16	920	150	0.16	58	2	60	全木	150	プロセッサ	60	178	50					中													19.4	直送システム
243い21	水涵保	スギ	47	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.03	25	22	461	167	0.36	65	2	67	全木	167	プロセッサ	67	560	62					中													19.4	直送システム
243い22	水涵保	スギ	47	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	3.85	25	24	734	343	0.47	137	0	137	全木	343	プロセッサ	137	286	97					中													19.4	直送システム
243い23	水涵保	カラマツ	47	保育間伐(活用型)	定性間伐	2.7	25	18	594	147	0.25	43	15	58	全木	147	プロセッサ	58	459	53					中													19.4	直送システム
243い24	水涵保	スギ	46	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	3.52	25	28	736	426	0.58	170	0	170	全木	426	プロセッサ	170	308	120					中													19.4	直送システム
243い25	水涵保	スギ	46	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	3.98	25	24	852	404	0.47	159	3	162	全木	404	プロセッサ	162	175	112					中													19.4	直送システム
243い26	水涵保	スギ	46	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.41	25	24	506	245	0.48	96	2	98	全木	245	プロセッサ	98	185	78					中													19.4	直送システム
243い30	水涵保	スギ	46	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	0.96	33	24	334	139	0.41	53	2	55	全木	139	プロセッサ	55	230	50					中													19.4	直送システム
243い31	水涵保	スギ	46	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	4.01	33	24	1,389	579	0.42	253	8	261	全木	579	プロセッサ	261	418	181					中													19.4	直送システム
243い32	水涵保	スギ	46	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	5.11	33	24	1,760	737	0.42	322	10	332	全木	737	プロセッサ	332	238	232					中													19.4	直送システム
243い33	水涵保	カラマツ	46	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.38	25	16	601	106	0.18	29	13	42	全木	106	プロセッサ	42	168	37					中													19.4	直送システム
243い34	水涵保	スギ	46	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.16	25	26	478	255	0.53	95	7	102	全木	255	プロセッサ	102	457	82					中													19.4	直送システム
243い35	水涵保	スギ	46	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.33	25	26	511	275	0.54	102	7	109	全木	275	プロセッサ	109	228	89					中													19.4	直送システム
243い36	水涵保	スギ	46	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	3.11	25	26	682	367	0.54	137	10	147	全木	367	プロセッサ	147	944	107					中													19.4	直送システム
243い37	水涵保	スギ	46	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	4.65	25	26	1,012	549	0.54	205	15	220	全木	549	プロセッサ	220	1070	160					中													19.4	直送システム
合計						95.80			23,400	9,335	0.40	3,676	193	3,869		9,335		3,869		2,869		0				21.415				13h	C-80 208m³	12L (希釈前)	6m×30枚 150日						

1 量の端数は単位以下第1位を四捨五入し、単位止めとする。
2 面積は伐採面積とする。
3 森林作業道作設の林地傾斜欄は以下の区分とする。
緩:0°～20°、中:20°～30°、急:30°以上
4 最寄りの市町村役場(支所含む)からの距離欄は、物件番号毎の代表箇所について市町村役場を記入し、距離は単位以下第1位止めとする。
5 伐採箇所、土場、森林作業道作設予定線(既設集材路含む)、編柵および沢については、作業計画図に図示する。
6 その他必要な項目があれば備考欄に記載する。

検知業務請負作業内訳書

事業名：森林環境保全整備事業（鹿原岳国有林）

単位：m³

材種	作業工程	予定数量	備考
素材	(1)の業務	546	
	(2)の業務	388	
	(3)の業務	—	
	(4)の業務	—	
	(5)の業務	1,935	
	合計	2,869	

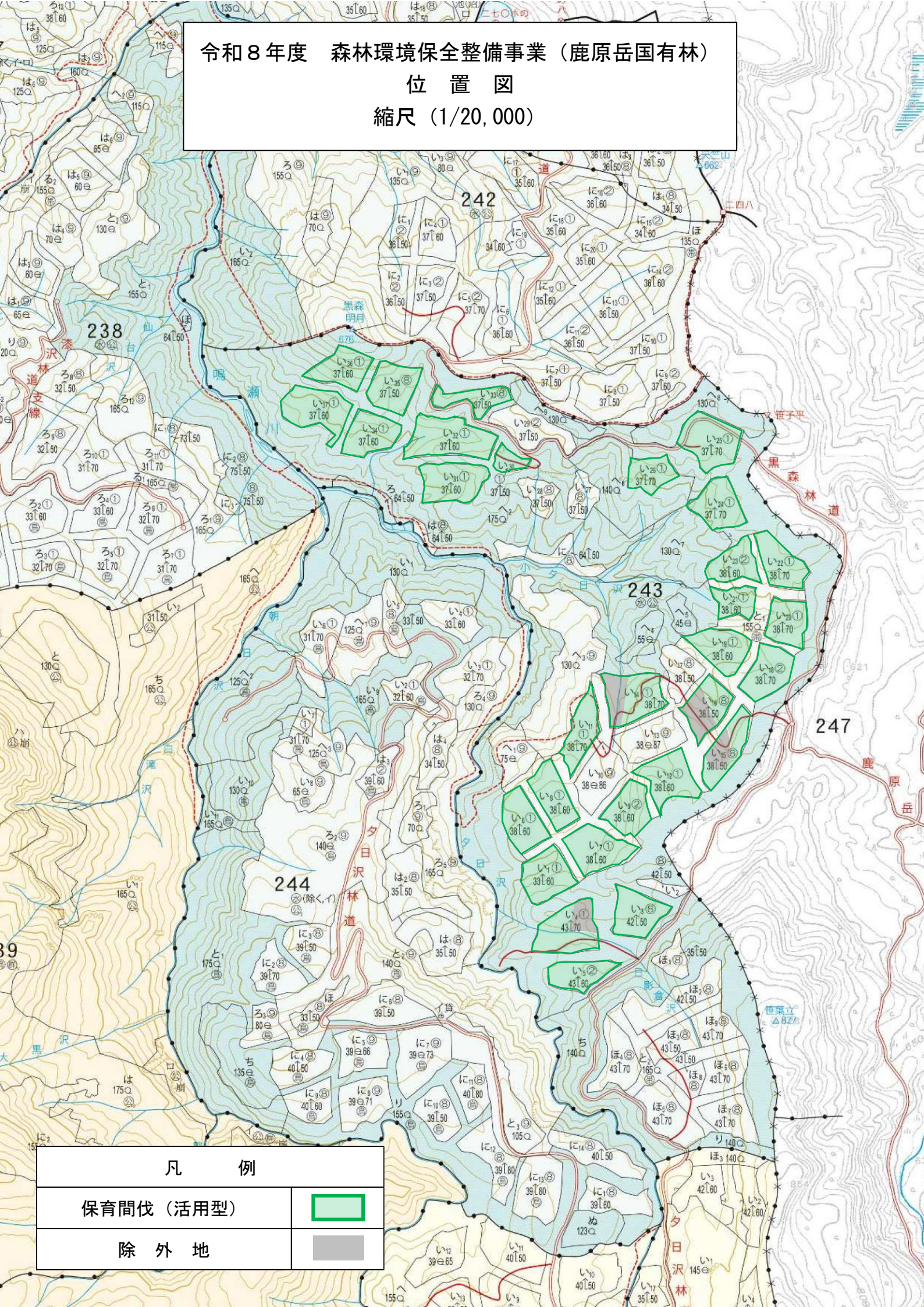
検知業務請負（作業内容）

- (1)の業務 素材の長級・径級を測定、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (2)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (3)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行う作業、トラック運材の積み込み本数を確認し送状に記載・交付する作業、及び最終貯木場において指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (4)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示、材積計算を行い、送状（概算引渡物件明細書）を交付し、スプレーの塗布を行う作業。
- (5)の業務 低質材及び低評価一般材の層積検知（縦、横、高さを測る）を行い指定野帳に記載し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。

令和8年度 森林環境保全整備事業（鹿原岳国有林）

位置図

縮尺 (1/20,000)



凡 例

保育間伐（活用型）



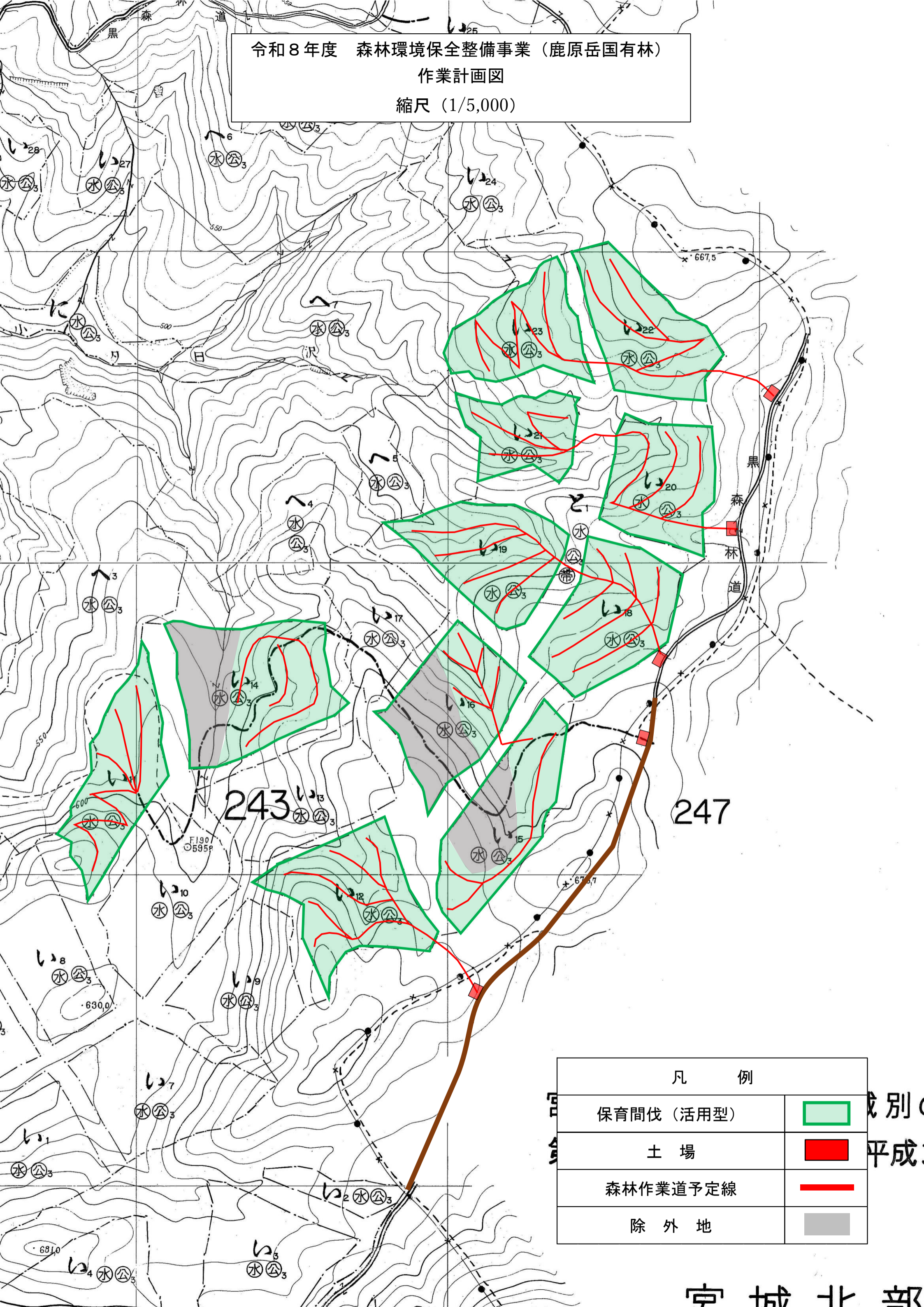
除 外 地



令和8年度 森林環境保全整備事業（鹿原岳国有林）

作業計画図

縮尺（1/5,000）



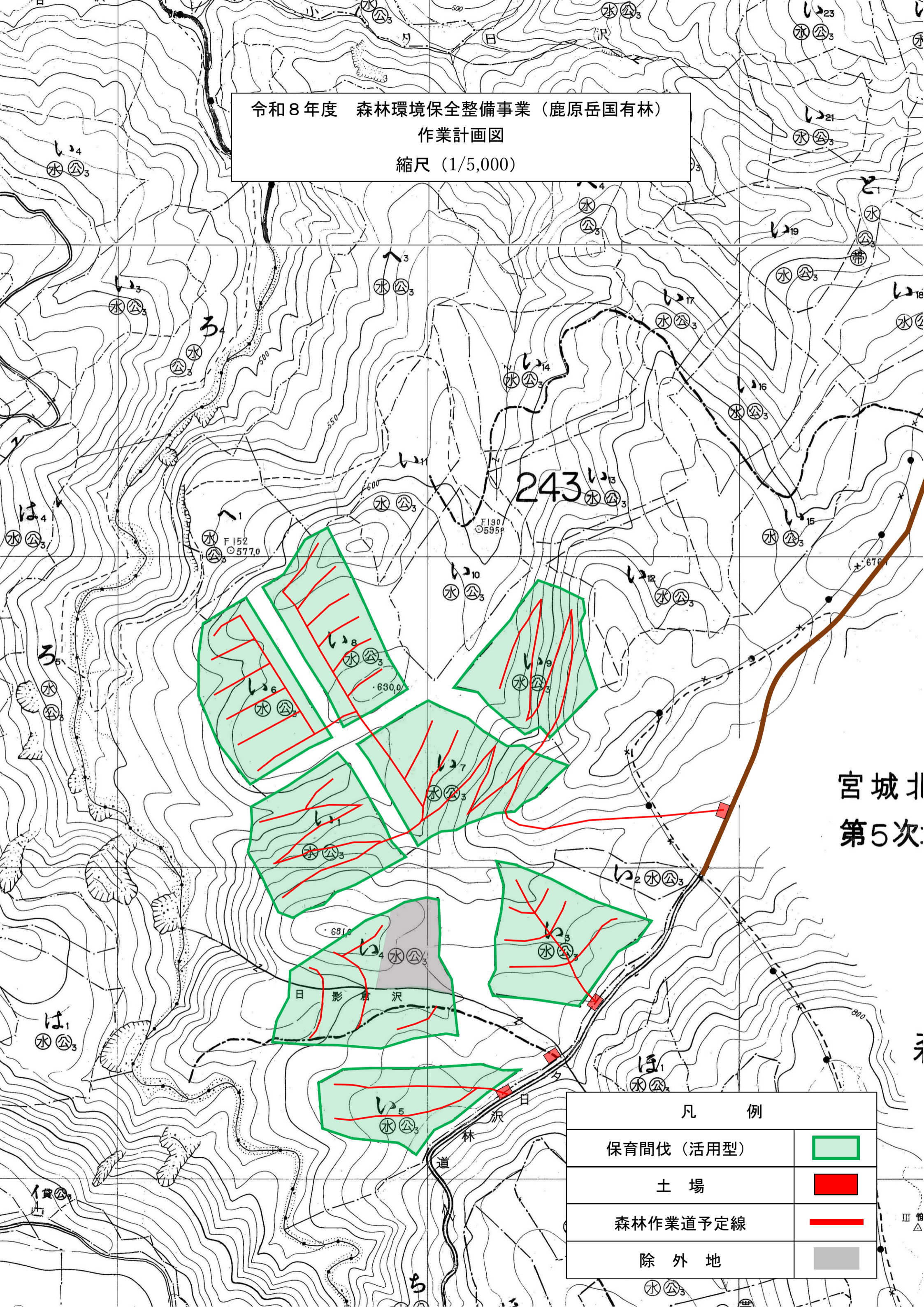
凡 例	
保育間伐（活用型）	緑色
土 場	赤色
森林作業道予定線	赤線
除 外 地	灰色

成別
平成

宇城北部

令和8年度 森林環境保全整備事業（鹿原岳国有林）
作業計画図

縮尺 (1/5,000)



宮城北
第5次

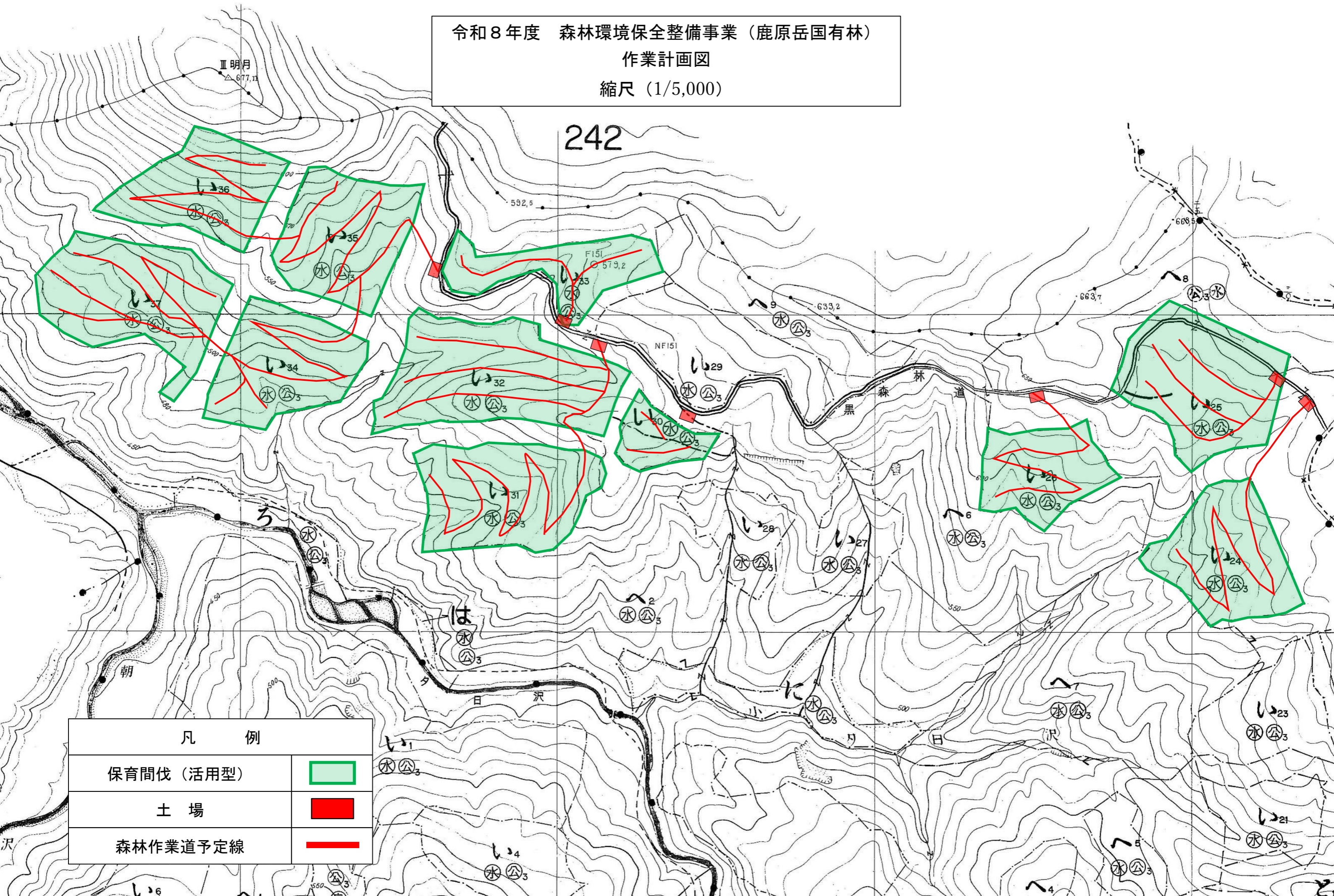
凡 例	
保育間伐 (活用型)	
土 場	
森林作業道予定線	
除 外 地	

令和8年度 森林環境保全整備事業（鹿原岳国有林）

作業計画図

縮尺 (1/5,000)

242



凡 例

保育間伐（活用型）



土 場



森林作業道予定線

